

## ■ 安全・安心なまちづくりパッケージ

一年を通じて安定した生活・社会経済活動を送ることができる信頼性の高い都市の構築を目指し、交通基盤の適切な維持・保全や更なるバリアフリー化、効果的な交通情報の提供等により、災害にも強く、誰もが安全・安心な交通環境の形成を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	災害に強い交通環境を実現するため、道路や橋梁等の交通基盤の耐震化や適切な維持・保全を行うとともに、効果的な交通情報の提供等の取組を進めます					
➢ 公共交通施設の耐震化の推進（橋梁、バスターミナル、JR・地下鉄の高架部）	○	○				
➢ 道路の効率的な維持管理の推進（舗装・橋梁補修）	○					
➢ 緊急輸送道路の整備	○					
➢ 拠点等の幹線道路における無電柱化の推進	○		○			
➢ ICTを活用した観光客向け交通情報の一元的な情報発信	○	○	○			
➢ 都心部における帰宅困難者対策（地下歩行空間等の一時滞在施設の機能強化等）	○					
➢ 災害時等における情報提供の充実	○	○				

### 評価指標

- 緊急輸送道路における橋梁の耐震補強整備率

<b>実施目標②</b>	一年を通じて誰もが安全・安心に利用できる交通環境を実現するため、交通施設や車両のバリアフリー化の取組を進めるとともに、道路の適切な利用環境の確保を図ります					
➢ 歩道バリアフリー化の推進	○					
➢ 地下鉄駅の更なるバリアフリー化の推進（エレベータ増設、車両とホームの段差解消）	○	○				
➢ 公共交通施設のバリアフリー化の推進（JR駅、バスターミナル等）	○	○				
➢ 公民連携による地下歩行ネットワークの充実	○		○			
➢ 路面電車の低床車両導入	○	○				
➢ 路面電車の軌道施設の機能充実（電停バリアフリー化等）	○	○				
➢ ノンステップバスの導入推進	○	○				
➢ ユニバーサルデザインタクシーの導入推進	○					
➢ 幹線道路等の交通事故対策	○					
➢ 自転車通行空間の明確化（路面標示設置、道路空間再配分等）	○		○			
➢ 自転車利用のルール・マナー周知・啓発	○		○			
➢ 新さっぽろ駅周辺地区の整備（空中歩廊、地下接続）	○		○			
➢ 苗穂駅周辺地区の整備（空中歩廊等）	○		○			
➢ 生活道路の整備	○					
➢ 長期未着手の都市計画道路の見直し	○					
➢ 幹線道路における重点的・効率的な除排雪の実施	○					
➢ 冬期歩道のつるつる路面对策の推進	○	○	○			
➢ 同伴幼児の無料人数拡大（地下鉄、路面電車）	○	○				
➢ 高齢者の外出支援（敬老優待乗車券証の交付）	○	○				

### 評価指標

- 歩道バリアフリー整備延長

### <関連計画など>

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| ➢ 札幌市強靱化計画（H28.1）        | ➢ 札幌市地域防災計画             |
| ➢ 新・札幌市バリアフリー基本構想（H27.3） | ➢ 札幌市自転車利用総合交通計画（H23.5） |
| ➢ 札幌市道路維持管理基本方針（H22.3）   |                         |

# 【参考】交通施策の体系化（詳細）

## ■ 多様な暮らしパッケージ

利便性の高い都心・地下鉄駅周辺などでの暮らしや、自然と調和したゆとりある郊外での暮らしなど、住まいの多様性が確保された札幌らしいライフスタイルを実現するため、地域の状況に応じた持続可能な交通環境の形成を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	自家用車に頼らなくても生活できる持続可能な地域交通環境を形成するため、バス路線の適切な維持に向けた取組などを進めるとともに、ICTを活用した交通情報の提供など公共交通の利用促進の取組を進めます					
➤ 地域の移動手段の確保（赤字バス路線の運行に対する補助等）	○	○				
➤ 新たな運行手段（デマンドバス等）の導入検討	○					
➤ 「札幌らしい交通環境学習」などモビリティ・マネジメントの推進	○	○	○			
➤ 同伴幼児の無料人数拡大（地下鉄、路面電車）【再掲】	○	○				
➤ 高齢者の移動支援（敬老優待乗車券の交付）【再掲】	○	○				
➤ バス利用者の利便性向上（ロケーションシステムの導入、待合環境の向上等）	○	○				
➤ 道路拡幅などによる幹線道路ネットワークの機能強化	○					
➤ 交差点改良や既存道路空間の有効活用による渋滞対策の推進	○					
➤ 幹線道路における重点的・効率的な除排雪の実施【再掲】	○					
➤ 路面電車の持続可能な事業運営（上下分離の導入）	○	○				
➤ 「えきバスナビ」の機能向上	○	○				
➤ SAPICAの利便性向上	○					
➤ 公共交通の次世代連携の調査・検討	○					

### 評価指標

- 公共交通利用者割合（公共交通利用者数/人口）

**実施目標②** 地域の豊かな生活を支える中心的な役割を担う拠点を形成するため、民間の開発やまちづくりの機会を捉え、安全で快適な歩行環境の確保や乗継・移動環境の向上に向けた取組を進めます

➤ 新さっぽろ駅周辺地区の整備（空中歩廊、地下接続）【再掲】	○		○			
➤ 篠路駅周辺地区の検討・整備（連続立体交差、駅前広場、区画整理）	○	○				
➤ 真駒内駅周辺地区の検討・整備	○	○				
➤ 清田方面公共交通機能向上の検討	○	○				
➤ バスターミナルの効率的な維持管理及びあり方検討	○	○				
➤ 民間開発との連携による交通施設の整備（歩行・滞留空間、空中歩廊、公共交通待合空間等）	○		○			
➤ 総合的な駐輪対策の推進（駐輪場整備、放置禁止区域拡大等）	○		○			
➤ 「駅の個性化プロジェクト」の実施（地下鉄）	○	○				
➤ 歩道バリアフリー化の推進【再掲】	○					

### 評価指標

- 拠点における駅乗車人員

### <関連計画など>

➤ 持続可能なバス交通体系の確立に向けた基本方針（H28.3）	➤ 札幌市幹線道路整備の取組について（H29.4）
➤ 地域交流拠点等における緩和型土地利用計画制度等の運用方針(H28.9)	➤ 札幌市冬のみちづくりプラン2018（H30.12）

# 【参考】交通施策の体系化（詳細）

## ■ 都心まちづくりパッケージ

都心部においては、通過するだけの不必要な自動車流入を抑制し、人を中心とした安全で快適な交通環境を創出するとともに、国内外から活力・投資を呼び込み、北海道・札幌の経済を牽引し、高次な都市機能を持続・発展させる市民活動・経済活動を支援するため、誰もが都心にアクセスできる利便性の高い交通環境の形成を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	人を中心とした安全で快適な交通環境を創出するため、誰もが快適に通行できる歩行空間を形成するとともに、自転車や公共交通等による回遊性向上に向けた取組を進めます					
➤ 自転車通行空間の明確化（路面標示設置、道路空間再配分等）【再掲】	○		○			
➤ 自転車利用のルール・マナー周知・啓発【再掲】	○		○			
➤ 総合的な駐輪対策の推進（駐輪場整備、放置禁止区域拡大等）【再掲】	○		○			
➤ 拠点等の幹線道路における無電柱化の推進【再掲】	○		○			
➤ 都心の骨格構造の強化・検討（いとなみの軸の回遊性向上に向けた検討等）	○					
➤ 公民連携による地下歩行ネットワークの充実【再掲】	○		○			
➤ 歩道バリアフリー化の推進【再掲】	○					
➤ 民間開発との連携による交通施設の整備（歩行・滞留空間、公共交通待合空間、共同荷さばき場、観光バス乗降場等）	○		○			
➤ 情報提供アプリ「さつちか」の運用による都心部地下の利便性向上	○					
➤ 民間によるシェアサイクルの展開	○		○			
➤ 広場空間や道路空間を活用した賑わいの創出	○					
➤ 路面電車の延伸検討、低床車両導入、軌道施設の機能充実（電停バリアフリー化等）【再掲】	○	○				
➤ 都心部に乗り入れる観光バスの乗降場・待機場の確保	○		○			
➤ 附置義務駐車場の整備適正化・集約化の促進	○		○			
➤ 路外施設を活用した荷さばきの推進	○		○			
<b>評価指標</b>						
● 都心の歩行者交通量						
<b>実施目標②</b>	誰もが都心にアクセスできる利便性の高い交通ネットワークを形成するため、公共交通の利便性向上や交通結節機能の強化を図るとともに、都心と高速道路とのアクセス機能強化の検討を進めます					
➤ 札幌駅交流拠点の再整備（バスターミナルの再整備や乗換動線の確保、待合空間における情報発信等）	○	○	○			
➤ 大通・創世交流拠点の基盤整備の検討・実施	○	○	○			
➤ 都心アクセス強化道路軸の検討・整備（創成川通の機能強化等）	○					
➤ 快速エアポートの増強等による新千歳空港へのアクセス強化		○				
➤ 地下鉄駅の更なるバリアフリー化の推進（エレベータ増設、車両とホームの段差解消）【再掲】						
➤ 公共交通施設のバリアフリー化の推進（JR駅、バスターミナル等）【再掲】	○	○				
➤ 地下鉄駅の利便性向上（案内表示や券売機の多言語化、Wi-Fiなどによる無料公衆無線LAN環境の整備、トイレの洋式化）	○	○				
➤ 北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の建設事業の推進	○	○				
➤ 北海道新幹線利用促進に向けた啓発PRの実施、札幌延伸に向けた機運醸成	○	○				
<b>評価指標</b>						
● 都心における駅乗車人員						
<b>&lt;関連計画など&gt;</b>						
➤ 第2次札幌市都心まちづくり計画（H28.5）	➤ 札幌市都市再開発方針（H28.3）		➤ 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想（H29.2）			
➤ 札幌駅交流拠点まちづくり計画（H30.9）	➤ 都心における開発誘導方針（H30.12）		➤ 駐車場附置義務条例の改正（H31.1）			
➤ 都心エネルギーマスタープラン（H30.3）						

# 【参考】交通施策の体系化（詳細）

## ■ 観光まちづくりパッケージ

国内外から多くの観光客が訪れる札幌市においては、観光客の滞在・周遊・再訪を促進し、道央都市圏をはじめとした道内の交流人口の拡大を図っていくため、市民・企業、交通事業者、行政が一体となって、多様な旅行スタイルやニーズに対応した利便性の高い交通サービスの提供を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	国内外から訪れる観光客の滞在・周遊・再訪を促進するため、都心から観光施設へのアクセス向上など、観光客の受入環境向上の取組を進めます					
▶ 北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の建設事業の推進	○	○				
▶ 北海道新幹線利用促進に向けた啓発PRの実施、札幌延伸に向けた機運醸成	○	○				
▶ 札幌駅交流拠点の再整備（バスターミナルの再整備や乗換動線の確保、待合空間における情報発信等）【再掲】	○	○	○			
▶ 大通・創世交流拠点の基盤整備の検討・実施【再掲】	○	○	○			
▶ 丘珠空港新規路線の誘致	○					
▶ 丘珠空港ターミナルビル機能拡充・アクセス強化などの空港利用価値の向上	○	○				
▶ 丘珠空港の利活用の在り方に関する検討	○	○	○			
▶ 都心アクセス強化道路軸の検討・整備（創成川通の機能強化等）【再掲】	○					
▶ 環状道路、放射道路の検討・整備（環状通、五輪通、国道230号等）	○					
▶ 民間によるシェアサイクルの展開【再掲】	○		○			
▶ 都心と周辺部観光スポット等を結ぶ交通手段の利用環境の整備（市内周遊バス等）	○	○	○			
▶ 都心部に乗り入れる観光バスの乗降場・待機場の確保【再掲】	○		○			
▶ 路面電車の延伸検討、低床車両導入、軌道施設の機能充実（電停バリアフリー化等）【再掲】	○	○				
▶ ユニバーサルデザインタクシーの導入推進【再掲】	○					
▶ シーニックバイウェイの推進	○		○			
▶ 快速エアポートの増強等による新千歳空港へのアクセス強化【再掲】		○				
▶ 歩道バリアフリー化の推進【再掲】	○					

### 評価指標

- 札幌観光の満足度および不満足度（観光スポットへのアクセス）

<b>実施目標②</b>	国内外から訪れる観光客などに分かりやすい交通情報を提供するため、案内表示の多言語化等による利便性向上の取組を進めます					
▶ 観光案内サインの充実	○	○				
▶ ICTを活用した観光客向け交通情報の一元的な情報発信【再掲】	○	○	○			
▶ バス利用者の利便性向上（ロケーションシステムの導入、待合環境の向上等）	○	○				
▶ 情報提供アプリ「さつちか」の運用による都心部地下の利便性向上【再掲】	○		○			
▶ 地下鉄駅の利便性向上（案内表示や券売機の多言語化、Wi-Fiなどによる無料公衆無線LAN環境の整備、トイレの洋式化）【再掲】	○	○				
▶ 「えきバスナビ」の機能向上【再掲】	○	○				
▶ SAPICAの利便性向上【再掲】	○					
▶ 公共交通の次世代連携の調査・検討【再掲】	○					

### 評価指標

- 公共交通機関を利用した観光客の割合（札幌滞在中の移動手段）

### <関連計画など>

- ▶ 札幌市観光まちづくりプラン改訂版（H30.3）

# 【参考】交通施策の体系化（詳細）

## ■ 広域連携パッケージ

北海道新幹線札幌開業を見据え、その効果を道内各地に波及させるとともに、道央都市圏をはじめとした広域的な拠点間の連携強化を図り、都市の活力を向上させるため、空港・港湾や鉄道・高速道路など、札幌市と道内・国内外とを結ぶ広域交通機能の確保・充実を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	道内の主要都市や観光地のほか国内外の地域と道央都市圏をつなぎ、人や物の移動の円滑化を図るため、札幌駅交流拠点等の交通結節点や丘珠空港の機能強化などの取組を進めます					
▶ 北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の建設事業の推進【再掲】	○	○				
▶ 北海道新幹線利用促進に向けた啓発PRの実施、札幌延伸に向けた機運醸成【再掲】	○	○				
▶ 札幌駅交流拠点の再整備（バスターミナルの再整備や乗換動線の確保、待合空間における情報発信等）【再掲】	○	○	○			
▶ 大通・創世交流拠点の基盤整備の検討・実施【再掲】	○	○	○			
▶ 丘珠空港新規路線の誘致【再掲】	○					
▶ 丘珠空港ターミナルビル機能拡充・アクセス強化などの空港利用価値の向上【再掲】	○	○				
▶ 丘珠空港の利活用の在り方に関する検討【再掲】	○	○	○			
▶ 快速エアポートの増強等による新千歳空港へのアクセス強化【再掲】	○	○				

### 評価指標

- 主要駅の乗車人員

<b>実施目標②</b>	周辺都市と市内の拠点相互が有機的に連結し、物流や緊急車両走行の円滑化を図るため、都心アクセス道路の検討など、骨格道路の機能強化に向けた取組を進めます					
▶ 都心アクセス強化道路軸の検討・整備（創成川通の機能強化等）【再掲】	○					
▶ 連携道路の検討・整備（屯田・茨戸通、札幌江別大橋等）	○					
▶ 環状道路の検討・整備（環状通、五輪通等）【再掲】	○					
▶ 放射道路の検討・整備（国道230号等）【再掲】	○					

### 評価指標

- 主要拠点間のアクセス時間

### <関連計画など>

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| ▶ 北海道交通政策総合指針（H30.3）       | ▶ 北海道航空ネットワークビジョン（H30.3）    |
| ▶ 札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想（H29.2） | ▶ 丘珠空港の利活用に関する検討会議報告（H30.2） |

# 【参考】交通施策の体系化（詳細）

## ■ 環境負荷低減促進パッケージ

環境首都・札幌の実現を目指し、市民・企業、交通事業者、行政が一体となって、公共交通の利用促進や自動車利用の適正化を図るとともに、各交通モードの円滑性や連続性を向上させるなど、持続可能な低炭素型の交通システムの充実を図ります

実施施策	実施主体			実施時期（10年間）		
	行政機関	交通事業者	市民・企業	前期	中期	後期
<b>実施目標①</b>	自動車から公共交通機関への転換を促し、環境負荷の低減につなげるため、公共交通の利用促進の取組を進めます					
➤ 「札幌らしい交通環境学習」などモビリティ・マネジメントの推進【再掲】	○	○	○			
➤ サービス向上に向けた乗車券の企画・発行（地下鉄、路面電車）	○	○				
➤ 子供を対象としたイベントや体験学習の機会の提供（地下鉄）	○	○				
➤ 地下鉄駅の更なるバリアフリー化の推進（エレベータ増設、車両とホームの段差解消）【再掲】	○	○				
➤ 公共交通施設のバリアフリー化の推進（JR駅、バスターミナル等）【再掲】	○	○				
➤ 路面電車の延伸検討、低床車両導入、軌道施設の機能充実【再掲】	○	○				
➤ 地域の移動手段の確保（赤字バス路線の運行に対する補助等）【再掲】	○	○				
➤ 新たな運行手段（デマンドバス等）の導入検討【再掲】	○					
➤ バス利用者の利便性向上（ロケーションシステムの導入、待合環境の向上等）【再掲】	○	○				
➤ ノンステップバスの導入推進【再掲】	○	○				
➤ 附置義務駐車場の整備適正化・集約化の促進【再掲】	○		○			
➤ 「えきバスナビ」の機能向上【再掲】	○	○				
➤ SAPICAの利便性向上【再掲】	○					
➤ 公共交通の次世代連携の調査・検討【再掲】	○					

### 評価指標

- 公共交通に対する満足度および不満足度

<b>実施目標②</b>	自動車のCO2 排出量の削減を目指し、渋滞緩和対策による交通円滑化等の取組を進めるとともに、次世代自動車の普及促進を図ります					
➤ 道路拡幅などによる幹線道路ネットワークの機能強化【再掲】	○					
➤ 交差点改良や既存道路空間の有効活用による渋滞対策の推進【再掲】	○					
➤ 次世代自動車・充電設備の普及促進のための補助の実施	○					
➤ 水素ステーション整備のための支援	○					
➤ 幹線道路における重点的・効率的な除排雪の実施【再掲】	○					

### 評価指標

- 市内CO2排出量（運輸部門）

### <関連計画など>

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| ➤ 第2次札幌市環境基本計画（H30.3）  | ➤ 札幌市温暖化対策推進計画（H27.3）       |
| ➤ 札幌市SDGs未来都市計画（H30.8） | ➤ 札幌市冬のみちづくりプラン2018（H30.12） |